

令和4年度アーツアカデミー
芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座
受講生 募集要項

4歴文ア助第269号
令和4年6月13日

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京では、次代の芸術文化創造を担う人材の発掘及び育成と、芸術文化支援の施策研究に寄与することを目的とした「アーツアカデミー事業」の一環として、「芸術創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座」を実施する。

当講座は社会と芸術文化の関係性を広い視座で捉え、自らの実践を展開する多様な担い手の活動基盤・推進力強化を支援するため、多様な担い手である受講生の芸術文化創造活動の課題解決や新たな価値創造、及び目標達成への道筋に必要な思考力やスキルを多面的に磨くプログラムを構成する。また、受講生が創造環境の新たな可能性を共に探求し、相互に成長し研鑽する場を提供する。これらの取り組みを通し、受講生のキャパシティビルディングやネットワーキングに資し、芸術文化環境全体の向上に貢献することを目指す。については、受講生を以下の通り募集する。

1 募集人数・対象

- (1) 16名程度
- (2) 芸術文化領域（主に非営利の活動）において3年以上の活動経験のある芸術文化従事者（セルフマネージメントのアーティスト・表現者、制作者、プロデューサー、キュレーター、コーディネーター、アートマネージャー、芸術団体・アートNPOの職員、芸術文化支援団体のプログラム・オフィサー、行政・企業等の文化担当者、研究者等）。（分野不問）

2 事業内容

アドバイザー/ファシリテーター及び講座内容に応じたゲスト講師を迎え、以下のプログラムを構成する。※1

- (1) 座学講座：全7回（下記参照）
- (2) 課題解決/価値創造戦略レポートの最終発表会：1回（第8回）
座学講座を通して得た知見をふまえて、受講生自らの活動の課題解決/価値創造に資する戦略レポート作成に約一カ月半の期間に取り組み、最終発表会にて発表する。※2
- (3) 個別相談：1回
レポート作成期間中に受講生の課題や問題意識に応じるアドバイザー/ファシリテーターとの個別相談の回を設ける。※3

- ※1 アーツカウンシル東京（東京都千代田区九段北4-1-28-8F）にて実地開催。ただし、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止にかかる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令状況等によって実地開催からオンライン開催へ変更の可能性がある。
- ※2 課題解決/価値創造戦略レポート等の成果物については再編集の上、プログラム報告書やウェブサイト等で一般に公開する。
- ※3 個別相談日は2022年11月下旬から12月上旬の期間に別途調整する。

※プログラムは都合により変更になる場合がある旨、予め了承すること。

日時	テーマ（講師名敬称略）	内容・ねらい
2022年 7月22日 (金) 10時30分 ～16時 30分 第1回 第2回	ヴィジョン・ミッションを磨く &ファンドレイジング力を磨く ～組織使命の再確認・探求、事業/活動に必要な資金調達力を磨く～ 山元圭太	【前半（約1時間）】 ・プログラム・運営チーム紹介、受講生自己紹介プレゼンテーション ・イントロダクションレクチャー（予定） 【後半（約4時間）】 〈第1回〉活動/組織のヴィジョン・ミッションの棚おろしレクチャー&ワークショップ 〈第2回〉事業/活動のためのファンドレイジングの全体像を捉え、実践の工夫・発想の拡張や新たな可能性を探る。 ・資金調達方法の多様性や可能性を知る。 ・ファンドレイジングの実際の悩みを共有し、考える等
2022年 8月22日 (月) 18時30分～ 21時 第3回	活動の価値を引き出す評価軸を磨く ～ロジックモデルを活用し改善・変革していく術を磨く～ 源由理子	・“価値”を引き出す評価について考える。 ・ロジックモデルを道具とし、活動をふり返り、取組の継続的改善や社会変革につながる評価的思考について学ぶ。 ・評価軸をもつことで組織・活動強化につながる道筋を探る。
2022年 9月5日 (月) 18時30分～ 21時 第4回	芸術文化の領域横断は何をもたらすか？～越境が生み出す創造的な連携・協働 坂倉杏介	・芸術文化と社会を更新し続けていくために、多様な主体のつながりを生み出す場づくりから学ぶ。 ・創造的な出会いはどのようにして可能か。ウェルビーイングとイノベーションにつながる地域の創発的なコミュニティの作り方を考える。
2022年 10月3日 (月) 18時30分～ 21時 第5回	思考の整理・課題の抽出・設定 小川智紀、若林朋子	・これまでの講義をふまえ、自身の思考の整理、活動の周りのリソースの棚卸し、課題の抽出と解決の糸口をあらためて探る。ディスカッション等を通して新しい気づき等を共有する。 ・自己診断ワーク（構想シート）のブラッシュアップと相互フィードバック

2022年 10月24日 (月) 18時30分～ 21時 第6回	人間にとって「文化」「芸術」 とは？ ～「文化権」から捉え直す～ 中村美帆	・「文化権」と関連するその他概念（生存権、生活権、社会権、人権、自由権、教育権、幸福追求権、等）から、誰一人取り残さない／あらゆる人々にとっての芸術文化の意味や、「文化権」という切り口からみた「稼ぐ文化」を推進するだけでない公共文化政策について考察し、芸術文化の可能性についてひろく考え直す力を磨く。 ・国連世界人権宣言、ユネスコ憲章や文化多様性条約等、広く世界を視野に入れて、芸術文化の価値を説明する文化政策の理論的背景について思考を深める。
2022年 11月7日 (月) 18時30分～ 21時 第7回	社会における芸術文化の必要性を考える ～芸術文化支援を鍵に、自立の在り方等を考える～ 片山正夫	・「なぜ、社会にとって芸術文化が必要か」という問いについて考える。 ・創造活動を取り巻く環境を総体的に捉え、活動の価値を客観的に説明する力を磨く。 ・芸術文化支援の体系を知り、自立・自走の在り方を探求する。
11月下旬～ 12月上旬	個別相談デー 小川智紀、若林朋子	・各人の創造活動やその環境にまつわる課題や問題意識に対する取り組み方について、アドバイザー、ファシリテーターとの面談を通して具体的な解決策や立案、そのための工程を探求する。
2023年 1月16日 (月) 17時～ 21時 第8回	課題解決/価値創造戦略レポートの最終発表会 小川智紀、若林朋子	・創造活動における課題解決の具体的な実装方法を提案、相互に思考を共有する。

3 応募資格

事業の趣旨を理解し、研究意識及び受講意欲を有する方で、次の全てに該当すること。

- (1) 自らの活動の改善に向けて、課題解決策を立案し、具体的な取組を行う意思があること。
- (2) 芸術文化創造環境の発展に貢献する意欲があること。
- (3) 各講座及び最終発表会に出席し、講師及び他の受講生と積極的に交流や議論ができること。※1
- (4) 課題解決/価値創造戦略レポート作成と提出が可能なこと。※2
- (5) オンライン（同時双方向型）講義の場合は、マイク・Web カメラ搭載のパソコンとインターネット通信環境（Wi-fi、光回線やケーブルテレビ等）が用意できること。※3
- (6) 受講後も芸術文化の振興に資する活動に携わる意思があり、終了後3～5年後をめどにアーツカウンシル東京が行うアンケート調査等に協力できること。

※1 選考にあたっては全8回受講可能な方を優先する。

- ※2 後日に編集作業を経て、報告書に掲載し公開する。
- ※3 スマートフォンでは画面が小さいため、資料が見えない場合があるのでパソコンでの受講を推奨する。

4 受講料・場所等

- (1) 受講料：無料
- (2) 場所：アーツカウンスル東京（東京都千代田区九段北 4-1-28-8F）。
（ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令状況等によって実地開催からオンライン開催へ変更の可能性がある）
- (3) 知的財産権：受講生が作成したレポート等成果物の著作権は公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンスル東京に帰属する。レポート等成果物及び各回の講座の様子等は再編集を施してウェブサイト等で公開する。
- (4) その他：出席やレポート提出に対する報酬、交通費等の支給はない。

5 応募書類・方法

- (1) 応募書類：所定の応募用紙をアーツカウンスル東京ウェブサイトからダウンロードし、以下の必要事項を記入すること。

ア 顔写真、氏名、年齢、現住所、Eメールアドレス、連絡先電話番号、現職・肩書、学歴、職歴、免許・資格等 ※1

イ ショートレポート・受講動機（800～1000字程度）

自らの活動について、客観的な視点を踏まえながら、以下の①～⑦を盛り込んで記述すること。

① 活動概要、②マネジメント体制、③目的・目標、④現時点の成果（外的評価含む）、⑤現時点で感じている課題・問題意識、⑥課題解決/価値創造のために自らが考えている糸口、⑦本講座の受講動機 ※2

※1 応募の際に受領した個人情報については、公益財団法人東京都歴史文化財団のプライバシーポリシーに基づいて本選考に必要な範囲内でアーツカウンスル東京が利用することを予め了承すること。

※2 選考の上、受講生となった方のショートレポート及び受講動機は、受講の際に講座内で講師及び他の受講生と共有する機会がある旨を予め了承すること。

- (2) 応募方法

artsacademy@artscouncil-tokyo.jp宛てにEメールで応募すること。

- (3) 応募期間

令和4（2022）年6月13日（月）から同年7月8日（金）17時まで

6 選考のプロセス及び方法

アーツカウンシル東京が定める選考委員会による書類審査

7 選考結果の通知・発表

選考結果は、採否にかかわらず2022年7月15日（金）頃までに、Eメールにて本人に通知する。なお、選考結果については電話等による問合せには応じない。また、アーツカウンシル東京の事業紹介ページにて、受講生の一覧を掲載する予定を予め了承すること。

8 問い合わせ先

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-28 九段ファーストプレイス8階
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部助成課
電話：03-6256-8431 Eメール：artsacademy@artscouncil-tokyo.jp
URL：www.artscouncil-tokyo.jp